



国民民主党・調布市議会議員

山根 洋平

活動報告vol.24

調布駅前広場の都市美化推進と 快適な環境づくりに向けて



画像：山根洋平撮影



駅前広場のごみ問題と、 清掃体制の強化

【質問】調布駅前広場（上写真）は整備が完了し、多くの人々が行きかう憩いの空間となる一方で、ごみの不法投棄やポイ捨てが目立つようになっていきます。市民や来街者を迎える重要な玄関口におけるごみの散乱は、都市美観を損ねるだけではなく、衛

美観を持続させる具体的取組

ごみ箱・サイン・音声案内・カメラ

【質問】駅前広場整備完了後も、ポイ捨てを未然に防ぎ美観を持続させる具体的な対策が不可欠です。ごみ箱の適切な配置、サイン（案内表示）や音声による啓発、防犯カメラを活用した不法投棄の抑止など、ハード・ソフト両面からの取組について、それぞれ導入の可能性をたしました。

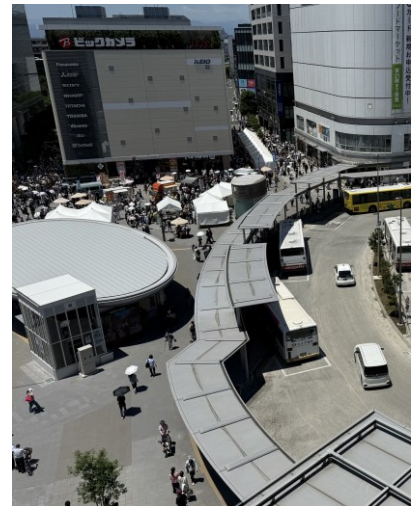
【答弁】音声案内・サイン：公共の場での音の発生には賛否両論があるため音声案内は予定していないが、通行人の目に入りやすく効果的な「公共サイン」については活用を図る。

防犯カメラ：現在設置している防犯カメラ

生面・防犯面でも見過ごせない課題です。現在の清掃は週6日の実施であり、週末や休日の人出を考えると十分とはいえません。

【市の答弁】駅前広場におけるごみの現状や課題は認識しており、美観の維持に努める。清掃活動についても、現在の体制を維持しつつ、状況に応じた対応を図っていく。

【要望】市の玄関口にふさわしい快適な環境を維持するには、現在の清掃頻度では不十分です。市民生活の質（QOL）の向上と、都市ブランドの維持のため、清掃体制を「週6日」から「毎日実施」へと強化し、常に清潔な駅前広場を保つよう強く求めました。



画像：山根洋平撮影

は市民の安全確保と犯罪抑止を目的としており、現時点でごみの不法投棄抑止への活用は考えていない。供用開始後の人の流れやイベント開催時の状況などを注視し、各対策の効果を見極めていく。

【提案】ごみ箱の設置については全く考えておらず、音声案内は行わない、防犯カメラ活用には慎重な姿勢でした。日中よりは夜間の不法投棄やポイ捨てが問題であると考えます。そもそも捨てさせないための抑止力の向上を図るとともに、自転車押し歩きへの声掛け、タバコのポイ捨て防止の見回り等さまざまな見回りと清掃業務を一体的に行い、委託事務の効率化も求めました。

